



漢字の書き順ぐちゃぐちゃ 教え方は？

小学3年生の息子についてです。今度、漢字検定を受けてみようと思っっているようです。

普段の学校生活はさほど問題ありませんが、漢字を書く様子をじっくり見てみると書き順がぐちゃぐちゃでした。書き順の法則があるのかもしれませんが、教えようとしても暗記のようになっけてしまいます。

正しい書き順を覚えるより、結局自分の書きやすい順番になっけてしまいます。そのせいか、なんとなく字のバランスも良くないように見えます。親も子も書き順の重要性をあまり感じない中、どのように手伝ってあげられるでしょう。

先生、教えて！

子育て・教育相談コーナー

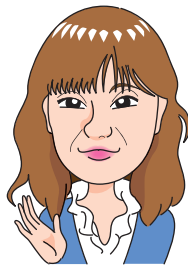


仙台市太白区
30代・パート
からの質問

●回答してくれた人

畠山 厚子さん

はたけやま・あつこ 仙台市出身。仙台市住吉台小、鶴谷東小校長を歴任。2019年4月から宮城県NIE委員会コーディネーターを務める。



漢字の書き取りは負担に感じる子どもが多いですが、お子さんは漢字を書くことが好きなようですね。文や文章は読む相手に伝える役割があるので、読みやすく整った文字が書けるようになることが望ましいです。

筆順（書き順）は、早く正しく文字を書き進めるための順序が習慣化したものです。学校教育では「上から下へ」「左から右へ」「横から縦へ」を原則とした書き方を筆順としています。

筆順に従って書くと、点画（とめ、はね、はらいなど）や字形などに気を付けるようになり、正しく丁寧で読みやすい文字が書けるようになります。学年が上がるにつれて習得

原則を一緒に調べては

する漢字数も増えるので、正しい筆順を身に付けておいた方が、複雑で画数の多い漢字も覚えやすくバランスの整った文字が書けるようになります。

3年生からは毛筆の授業が始まります。点画のつながりを意識しながらスムーズに筆を運べるようになるためにも、なるべく正しい筆順を習得しておくの良いと思います。

漢字は長い歴史の中で培われた、日本固有の言語文化の一つです。漢字検定を受けようとするなど漢字に興味のあるお子さんですから、保護者も一緒に漢字の成り立ちや筆順の原則などを調べてみてはいかがでしょうか。楽しみながら筆順の合理性に気付くかもしれません。

このコーナーは保護者からの子育てや教育についての相談を募集しています。メール、郵送のほかQRコードから応募できます。

▷記入事項 氏名、年齢、職業、住所、家族構成、電話番号、メールアドレス

▷宛先 〒980-8660 河北新報社
こども新聞係。メールアドレスkyopro@po.kahoku.co.jp

